

令和４年度 第Ⅰ学年 前期授業アンケート結果 分析表

現代の国語	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度ともに適切であると感じている生徒も多い。予習・復習を習慣づけるとともに、生徒の興味・関心を高められるような授業展開を目指していきたい。
言語文化	集中して取り組んでいる生徒が多く、難易度・進度をちょうど良いと感じている生徒の割合が高い。予習だけでなく復習も習慣づけられるような声かけを行うとともに、グループ活動も適切に取り入れながら、授業改善に努めていきたい。
地理総合	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容にもっと触れてみたいと感じている生徒も多い。今後は知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決にむけて協議・討論するような授業に取り組みたい。
歴史総合	授業には集中して取り組み、ペアワークも概ね好評であった。その一方で授業の難易度、授業進度に関して半数が肯定的な回答をする一方、約半数が否定的な回答であった。また、授業に対する興味・関心、授業内容にもっと触れてみたいと感じている生徒も同様で、半数が肯定的な回答であった一方、約半数が否定的な回答であった。授業を担当する教員で話しあい改善にむけて取り組みたい。
数学Ⅰ	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に学習に取り組む生徒が増えている。予習・復習と問題演習など、学習の仕方などについても自立していくことができるような働きかけとともに、表現力や状況把握能力など様々な力を育む授業展開を目指したい。
探究数学A	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に学習に取り組む生徒が増えている。予習・復習と問題演習など、学習の仕方などについても自立していくことができるような働きかけとともに、表現力や状況把握能力など様々な力を育む授業展開を目指したい。
物理基礎	多くの生徒が興味を持って授業に取り組んでいる様子が見て取れる。関心・意欲も高い様子で、レベルも、または進度も満足しているようである。この状態を維持しつつ、興味を喚起するような教材研究に取り組んでいきたい。
化学基礎	多くの生徒が興味を持って授業に取り組んでいる様子が見て取れる。関心・意欲も高い様子で、レベルも、または進度も満足しているようである。この状態を維持しつつ、興味を喚起するような教材研究に取り組んでいきたい。調査では、平均点が少し高く出たので、もう少し難易度をあげても十分回答できるのではないかな。
生物基礎	多くの生徒が興味を持って授業に取り組んでいる様子が見て取れる。関心・意欲も高い様子で、レベルも、または進度も満足しているようである。この状態を維持しつつ、興味を喚起するような教材研究に取り組んでいきたい。
体育	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適切である。授業は週２回ではあるが、全体の技能・体力の向上が見られる授業内容の工夫が必要である。今後もパソコン（タブレット）の活用、グループ学習等を積極的に取り入れた充実した授業を実施していきたいと考える。
保健	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適切である。単元の内容によっては、グループ学習等を積極的に取り入れた充実した授業を実施していきたいと考える。
音楽	多くの生徒が集中して取り組んでいる。これまで触れたことのない楽器にも挑戦しており、グループでのアンサンブル活動を通して、学習意欲が高まり理解が深まったと回答する生徒が多かった。生涯にわたって芸術を愛好していく生徒の育成に努めたい。
美術	多くの生徒が楽しく制作に取り組んでいる。引続き生徒の興味関心が高まる授業を心掛け、生徒達の能力を伸ばす指導を努めたい。
書道	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習は昨年よりは多く実施しており、生徒からの反応も良い。個別最適な学びと協働的な学びの一体化をさらに進めたい。またESD教育の視点での活動も行っているが、生徒たちの意欲がより増し、芸術的な思考が活性化できる内容を今後も展開していきたい。
英語コミュニケーションⅠ	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に英語学習に取り組んでいる生徒が多い。自立した学習スタイルを確立させるべく、予習・復習の習慣化を更に促すとともに、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。
論理・英語Ⅰ	多くの生徒が集中して取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。予習・復習の更なる徹底を促しながら、効果的な活動を更に検討していくとともに、発展的な内容にも取り組んでいきたい。
家庭基礎	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。単元により、生徒の関心・意欲にばらつきはあるが、興味関心を持てるような授業を心がけていきたい。２時間連続の授業のため、座学は集中力が途切れがちになるがグループ学習などを積極的に取り入れ、深い学びを得られるような授業を実施していきたい。
情報Ⅰ	多くの生徒が集中して取り組んでいる。引き続き興味関心が高まる授業を心掛け、生徒達の能力を伸ばす指導に努めたい。実習では結果に至るまでの過程をしっかりと理解できるようにプログラミング的思考力の育成に努めたい。

令和4年度 第2学年 前期授業アンケート結果 分析表

現代文B	様々な領域の硬質の文章や小説世界を読み解くおもしろさを感じながら、多くの生徒が主体的に取り組んでいる。引き続き思考の深まりに繋がる授業を目指したい。
古典B	古文漢文共に、読解の基礎を大切にしながら予習復習のリズムを作って多くの生徒に取り組んでいる。作品の背景等へも興味が広がるような楽しさのある授業を引き続き目指したい。
世界史A	概ね良好な回答を得たと考えている。後期はグループ学習・調べ学習をとりいれた授業を積極的におこない、生徒の理解や意欲が高まり、かつ学習の深さも得られるように授業改善を行っていききたい。
世界史B	多くの生徒が意欲的に取り組み、興味関心も高まったようで、授業内容・難易度などについても概ね良好な回答を得た。一部、理解や取り組みに困難さを抱える回答も見られた。生徒の状況を勘案しながら、授業内容の精選、また教材研究に努め、歴史への興味関心や理解が深まる授業に取り組んでいきたい。
日本史A	人数が少ない点を効果的に活かし、講義形式の授業はほとんど行わなかった。主に学校図書館を利用して、教科書の記述に対して、本県ではどういう状況だったのか、原史料の読解をさせ、グループ発表を行う授業を数多くおこなった。授業の内容・進度・難易度などに対し、概ね満足という結果であったが、考查内容について改善すべき必要があるように感じられた。今後も同時代の資料活用などを通じて、歴史に対する理解が深まるように気を配っていききたい。
日本史B	概ね良好な回答を得たと考えているが、授業理解等について分かりづらさを訴えている回答や興味関心が高まっていないという回答も一部見られた。今後、進度とともに暗記では対処しきれなくなることも予想される。時間的な制約はあるが、ペアワークの機会を取り入れ、生徒の興味関心がさらに深まるよう気を配っていききたい。
地理A	全体的にみると、概ね良好（肯定的）な回答ではあった。しかし、生徒の学習意欲や関心を引き出す点で改善の余地がある。後期は「グループ学習」、「調べ学習」を増やしていききたい。また、今後とも授業方法や教材なども改善していききたい。
地理B	かなり少人数ではあるが、「授業を通じてもっと科目の内容に触れたいと思うようになった」という興味、関心に関わる項目で「あまり感じない・全く感じない」と回答する生徒がいた。今後の授業では、生徒の興味、関心を高められるような授業を目指したい。
倫理	授業に集中して取り組むことや授業の難易度に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容にもっと触れてみたいと感じている生徒も多い。今後は知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決において協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅱ	授業の進度や難易度について肯定的な回答が多い。しかし、予習・復習への取り組みが不十分な生徒も多い。再度、家庭学習の重要性を共有しながら「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
探究数学B	多くの生徒が授業に集中しているが、内容の深まり、授業スピードが早くなったことに対して、やや苦手意識、理解不足がでている可能性がある。予習・復習に十分に取り組めていない生徒も見られるため、家庭における学習の重要性を共有し、予習・復習と学習の継続への取り組みに更に努めたい。
数理情報	多くの生徒が授業に集中しているが、学習する内容が多いため、やや苦手意識、理解不足がでている可能性がある。興味や関心が高められるように丁寧な説明と、内容に適した教材開発に引き続き努めていききたい。
探究物理Ⅰ	授業は聞くだけの場ではなく、「考える」場である。授業では考える時間を多く取り入れたい。そのためにも理系としての家庭学習の習慣を定着させて、授業で思考するための力を付けてほしい。
探究化学Ⅰ	多くの生徒が一生懸命授業には取り組んでいると思われる。化学になり法則や公式など理解しなければいけないことが多く苦勞している生徒も多く見られる。今後は個別に課題を出すなどしていき全体的な底上げを図りたい。
化学基礎	昨年度からの履修ということもあり、ある程度知識の定着ができていくように思う。この先は演習や実験を行うことでより深めたり、思考力を養うようにしていききたい。
探究生物Ⅰ	週5時間実施で生物基礎は8月中旬に終わり、年度末までに専門生物も少なくとも3分の2は終了させるため、例年の生徒と比べて進度が速く感じているようである。家庭学習なども促しながら授業展開を工夫していききたい。
生物基礎	概ね良好な結果であった。よりICTを活用し、基礎の定着や発展した授業を展開したい。多くの生徒が授業に集中して取り組んでおり、今後はより深い内容に取り組んでいきたい。
地学基礎	概ね良好な結果であった。今後とも知識の定着を図ったうえで思考力を高めるような授業を行っていききたい。また、理解が難しい場面や思考を深める場面などで、グループワークや情報機器などを適切に組み合わせた授業展開を行っていききたい。

体育	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適切である。授業は週２回ではあるが、多くの生徒の技能・体力の向上が見られる。パソコン（タブレット）の活用や、グループ学習の場面を積極的に取り入れ、選択制授業の充実を図り、３年生の男女共修選択制授業へのよい準備期間となるよう働きかけていきたい。
保健	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適切である。単元の内容によっては、グループ学習等を積極的に取り入れた充実した授業を実施していきたいと考える。
コミュニケーション 英語Ⅱ	Ⅰ年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、学習活動に非常に積極的である。予習が習慣化され、英語運用能力の向上を図ろうと工夫して学習に励む姿が見られる。
英語表現Ⅱ	Ⅰ年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。コミュニケーション活動に意欲的に取り組み、英語運用能力を更に高めようとする姿が見られる。

令和4年度 第3学年 前期授業アンケート結果 分析表

現代文B	集中して授業に取り組んでいるという回答が大多数であり、進度・難易度ともに適切であると感じている生徒も多い。ペア・グループ学習等を取り入れつつ、さらに理解しやすい授業を行いながら、生徒の興味・関心を高められるような授業展開を目指していきたい。新聞を用いた授業も引き続き行いたい。
古典B	授業には概ね集中して取り組んでおり、進度や難易度、学習形態等は適切であると考えている生徒が大半であった。今後は家庭での学習（予習や復習等）により多くの時間をかけさせるよう指導するとともに、生徒の興味・関心を高められるような授業展開を目指していきたい。
世界史B	授業を受けて興味・関心が高くなったとの回答も多く、大多数が意欲的に学習に取り組んでいる。授業の難易度・進度・わかりやすさなど多くの項目で肯定的な回答を得た。一部、理解や取り組みに困難さを抱える回答も見られた。生徒の状況を勘案しながら、授業内容の精選や教材研究に努め、歴史の多面性を感じ歴史への理解が深まる授業に取り組んでいきたい。
日本史B	授業そのものについては概ね良好な回答を得たと考えているが、授業理解等について分かりづらさを訴えている回答や興味関心が高まっていないという回答も約1割見られた。残りの時間も豊富にあるわけではないが、ペアワークの機会を取り入れ、生徒の興味関心がさらに深まるよう気を配っていきたい。
地理B	今後のデバイス変更を見据え利用する機器を変更した。GISを利用しやすくなった一方でデメリットも検証したい。人文科学分野が大半を占めるこの時期には、理系生徒にとっても関心のもてるものを準備する必要がある。教育方法を含めて検討したい。地理的な思考力を高めるため、考查や模試で考察の問題の割合を高くしている。
政治・経済	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容にもっと触れてみたいと感じている生徒も多い。今後は知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決にむけて協議・討論するような授業に取り組むたい。
数学Ⅲ	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であるが、考查等の成績を考えると、生徒自身が感じている「自分の理解度」や「授業に臨む姿勢」など、認識が甘い可能性がある。今後は取り組みの改善を図り、知識の定着にとどまらず、理解度を深めさせて様々な課題に取り組めるようにさせていきたい。
発展数学α	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であるが、考查等の成績を考えると、生徒自身が感じている「自分の理解度」や「授業に臨む姿勢」など、認識が甘い可能性がある。今後は取り組みの改善を図り、知識の定着にとどまらず、理解度を深めさせて様々な課題に取り組めるようにさせていきたい。
発展数学Ⅲ	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であるが、考查等の成績を考えると、生徒自身が感じている「自分の理解度」や「授業に臨む姿勢」など、認識が甘い可能性がある。今後は取り組みの改善を図り、知識の定着にとどまらず、理解度を深めさせて様々な課題に取り組めるようにさせていきたい。
発展数学β	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であるが、考查等の成績を考えると、生徒自身が感じている「自分の理解度」や「授業に臨む姿勢」など、認識が甘い可能性がある。今後は取り組みの改善を図り、知識の定着にとどまらず、理解度を深めさせて様々な課題に取り組めるようにさせていきたい。
物理	授業の取り組み、理解度ともに概ね良好であった。日常には感じられない現象も多く理解が難しい分野もあるが、理論を深めていくことで思考力や表現力を高めていきたい。また、問題演習を通して物理的な考え方を丁寧に身につけさせたい。
化学	実験を多く取り入れた授業で、仮説を立て考察することで理解が深まり、知識だけでなく、思考力が身につくと生徒たちも実感していると思われる。授業に対する意欲、取り組みは良好であるので、さらに新たな授業展開ができるように工夫していきたい。
生物	生徒の意欲、授業の進度・レベルなどは比較的良好な意見が多かった。多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。今後は先端の内容を含め、高度な内容を扱う授業も心掛けたい。
実践 物理基礎	授業の取り組み、理解度ともに良好であった。少人数の強みを生かして、対話的で、個に応じた授業を実践した成果だと言える。引き続き、少人数ならではの授業展開をしていきたい。
実践 化学基礎	例年と大きく変化は無く授業者の想定していた反応であった。問題演習を中心とした取り組みとしているため、苦手な生徒の意欲をどう向上させるかが課題だと考える。生活との関わりを意識させる授業や、生徒どうしが教え合っ問題解決を行うような取り組みを増やしていきたい。
実践 生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
実践 地学基礎	概ね良好な結果であった。今後も理解が難しい場面や思考を深める場面などで、グループワークや情報機器などを適切に組み合わせた授業展開を行ってきたい。また、演習では問題を分析したり、問題を作るなどのグループ活動を取り入れ、表現や思考をより深めていきたい。
体育	大半の生徒が授業に集中して取り組んでおり、進度・難易度についても適切である。3年生は週3回あるため、技能・体力の向上を感じている生徒が多いようである。パソコン（タブレット）を効果的に活用し、男女共修選択制授業の充実を図り、生涯体育につながる力を身に付けさせたい。
コミュニ ケーション 英語Ⅲ	大半の生徒にとって予習・復習が習慣化しており、授業に臨む態度が育成されている。3年間を通して授業に集中して受けることができおり、授業進度や難易度も適切であると肯定的に捉えている。グループワークやディスカッションでは既習の知識を駆使して積極的に授業に参加しようとする様子も見られ、主体的学習者としての素養が整っている。
英語表現Ⅱ	3年間を通して授業に集中して受けることができおり、予習や復習もしっかり習慣化されている。協働学習にも積極的に参加し、思考力や表現力の向上に努めている様子が多々見受けられる。テストなどで出題される英作文にほぼすべての生徒が解答をすることができる。